

## 一般質問

一人の女性の要望を一般質問として取り上げました。  
「がん治療による脱毛はストレスになり、仕事も、外出もままならない。がん治療にはお金もかかり、ウイッグ購入のための補助ができないものでしょうか？」

### 医療用ウイッグ購入費助成を

#### 【質問】

令和3年度から福岡県アピランスケア(治療によって起こる外見の変化に対して支援すること)推進事業として医療用ウイッグ等の購入について県と市町村で購入額の半分を助成する「折半方式」を設け近隣自治体において岡垣町、芦屋町、粕屋町、志免町、宇美町ほか20市町がこの事業を実施。本市における、①医療用ウイッグ購入費助成、②乳房補正具、術後リンパ浮腫ケアのための弾力着衣購入費助成について質問。

#### 【答弁】

①②ともに購入費の2分の1助成。今年度は助成の上限額として医療用ウイッグは20,000円13人分。補助具等は10,000円3人分。それぞれ1回を限度に助成することとしている。(令和5年度4月～実施)

その他の質問として「小学校教科担任制導入考え」について質問。宗像市内14の小学校、義務教育学校で実施。小規模校である吉武小学校では実施していない。その目的、効果、課題について質問した。



## 2023年度当初予算

総額412億3,651万円の2023年度一般会計当初予算及び、ふるさと寄付増額に伴う謝礼代、赤間小や自由ヶ丘南小の長寿命化工事など2億1,928万円を増額する22年度一般会計補正予算案(第7号)など36議案を可決した。

#### 【一般会計予算の概要】

定住都市むなかたの実現に向け、これまでの主要施策である防災・減災、脱炭素、都市再生、教育、子育てに加え、複雑・複合化している市民の生活課題解決に向けて相談連携体制のさらなる強化を行う重層的支援体制整備、食のまちを加えた7つの主要施策に力を入れて予算編成を行っている。

#### 【令和5年度国民健康保険特別会計予算】

事業勘定の予算総額は、歳入歳出それぞれ102億6,448万6,000円。前年度比2.7%、2億6,780万4,000円の増額である。令和5年度の国民健康保険税について、医療給付費分は国民健康保険基金を取り崩して据置く。後期高齢者支援金分所得割の税率を0.2%、均等割額と平等割額を500円に引き上げ、介護納付金分は所得割の税率を0.1%引き上げる。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対する保険税の減免は、令和5年度も引き続き市独自の施策として実施する。

おかもと 陽子



# 通信

守りたい!

あなた  
地域の生命 生活を!



ホームページ



〒811-4163

宗像市自由ヶ丘7-6-1

☎&FAX: 0940-25-5344

mail: taiyoudaisukinayoko@gmail.com

皆様のご意見ご要望をお寄せ下さい

# 意見書

【帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書(案)】 **全員賛成で採択**

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この帯状疱疹の発症予防のためには、ワクチンが有効とされているが、接種費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

帯状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「帯状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるともいわれている。

そこで、政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、帯状疱疹ワクチン接種に係る助成制度の創設及び予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。(一部抜粋)



介護予防教室懇談会に参加。  
意見交換(メイトム)



県下2番目の高度衛生管理、荷捌き所(鐘崎)落成式に参加。



中学校部活地域移行に関する懇談会に参加。  
関係者と意見交換(スポーツサポートセンター)



地元自由ヶ丘街づくり懇談会に参加。  
地元住民と意見交換(自由ヶ丘コミセン)



子どもの自立サポートセンターホープ(正助ふるさと村)視察



地方公聴会で県の取り組みについて傍聴(ホテル日航)

議員活動の一部を紹介  
今までの市民相談、1975件



福岡県助産師会懇談会に参加。会長と産後ケアについて意見交換(福岡県助産師会館)

